

ベトナム最新情報

2018年7月18日（水）

— 通巻4352号 —

目次

○ 政治・経済

- = 世界のホテルブランド、ベトナムに続々参入
- = 上半期の家畜飼料輸入が20億ドル、13%増
- = ベトナムにシフトする繊維プロジェクト、染色による環境汚染を懸念

○ 社会・文化・トレンド

- = 結婚式、カード払いのご祝儀に賛否両論

○ 一口ニュース（4件）

- 為替・証券市場動向
- 入札情報

○ 事件・出来事

- = 外国人観光客を狙うレディーボーイ窃盗グループを逮捕

○ コラム

- = 代理出産を引き受ける女性たち（最終話） 癒えない心の傷

******* 政治・経済 *********世界のホテルブランド、ベトナムに続々参入**

旅行業界の大きな成長と、リゾート不動産の開発活発化にあわせ、世界の有名ホテルマネジメントブランドが多数ベトナムに進出している。

■新規参入続々

今年に入ってから、ホーチミン市では「Mandarin Oriental」や「Movenpick」、Quang Binh 省では「Best Western Premier」など、市場に新たなホテルブランドが参入した。

これ以前にも、Quang Nam 省で「Ozo」や「X2 Vibe」、ハロン、ブンタウ、ハノイで「Double tree by Hilton」、Quang Nam 省とハノイで「Four Seasons」、ダナン市で「Glow」などが参入している。

5 月には、Novaland がカントーで開発したホテル「Azerai」が供用を開始、マネジメントは世界有数の高級リゾートチェーン Aman Resorts が行う。カントーの同ホテルは米紙『New York Times』から、2018 年に世界で最も行くべきリゾートの一つに選定されている。

「Crowne Plaza」「Hotel Indigo」「Holiday Inn」「Holiday Inn Express」「Staybridge」といった 9 つの世界的ブランドを擁する世界一のホテルマネジメントグループ Intercontinental Hotels Group も、Sungroup がダナンで開発する 180 室、ヴィラ 5 棟、スイートルーム 20 室超を擁するリゾート「Danang Sun Peninsula Resort」のマネジメントを受注した。同グループは BIM Group がフーコック島で開発する「InterContinental Phu Quoc」のマネジメントも行う。

「Sofitel」「Pullman」「Novotel」「Mgallery」などのブランドで 92 カ国 4,000 軒近くのホテルを管理する Accor Hotels も、ベトナムで 20 軒あまりのホテルをマネジメントするなど足固めに余念がない。

Hyatt グループは、「Park Hyatt Sai Gon」「Hyatt Regency Da Nang Resort & Spa」「Park Hyatt Hanoi」など着実にステップを踏んでいる。

世界 73 カ国で約 8,000 のホテルを持つ Wyndham Hotel Group も、PPC An Think Viet Nam との提携で「Wyndham Soleil Da Nang」、Cam Lam インベスト社が開発する「Swiss BelHotel & Resort Cam Ranh」でベトナムに初参入している。

■世界的ブランドの起用で安定的な収益

リゾート不動産が外国のマネジメント会社を起用するのは、「外国好き」という心理によるものではなく、もたらされる効果が非常に大きいためである。

JW Marriott Hanoi ホテルの Nguyen Viet Tao 副頭取によると、ホテルのマネジメントは、一般的な標準やスキルといった単純なものではなく、国内企業ではまだ把握していない、技術や秘訣が存在する。そのため外国マネジメント会社、特に世界的に有名な企業を起用することは、合理的で賢い選択と言える。

Khanh Hoa 省 Cam Ranh の「Swiss BelHotel」を開発する Hoang Minh 社の Dang Quang Thai 社長によると、マネジメントシステムやプロの運営手法を構築し、利用者に信頼される世界的ブランドを構築することは、簡単なことではない。

「外国のマネジメント会社を起用すれば顧客を確保できる。国内企業ではまだ、標準レベルのホテルのマネジメントしかできず、大規模、高級ホテルで、顧客を確保し、高額な料金を設定しようと思えば、外国人に目を向ける必要がある。世界的なホテルブランドは100年単位の歴史があり、固定客が非常に多い。ホテルに国際的なブランドの冠を載せることは、利用者にも魅力的な要素で、そこから安定売上を確保できる」と Thai 氏は話している。

また、開発業者によると、このように有名な外国ホテルマネジメント企業を起用すると、世界的な宣伝費が非常に安くつき、その一方で顧客は確保できる。

ベトナムではホテルマネジメントという分野が未熟であるため、発展させるには多大な時間と金銭をかけて、人材育成、国際市場へのブランド PR などを行わねばならない。人材育成や外国への宣伝費は非常に高く、外国マネジメントグループを起用するよりコストがかかる可能性がある。

■2018 年第 1 四半期、前年同期比 3 割増の外国人

世界観光機関(UNWTO)によると、ベトナムは旅行分野の成長が最も著しい国として世界 6 位となっている。

2017 年にベトナムでは 1,290 万人の外国人を迎え、国内旅行者も 7,320 万人に達した。旅行者からの総収入は 510 兆ドン(約 232 億ドル)に上る。

2018 年第 1 四半期のみで、ベトナムを訪れた外国人は 420 万人で、これは前年同期比 30.9%増となっている。

(Dau Tu 7 月 6 日,P.9)

上半期の家畜飼料輸入が 20 億ドル、13%増

税関総局によると、6 月の家畜飼料と原料の輸入額は、前年同期比 12.96%増の 3 億 7,200 万ドルに達した。

年初 6 カ月間では、前年同期比 11.9%増の 20 億ドルに達し、主な輸入品は大豆、トウモロコシ、小麦、キャッサバ製品であった。

ベトナムが輸入する家畜飼料と原料の主な輸入元は、ブラジル、アメリカ、アルゼンチンなどで、2017 年の家畜飼料・原料の輸入額は 32 億ドル。

商工業省は今年 1 年間の輸入額が、38~39 億ドルに達すると予測している。

(Thanh Nien 7 月 17 日,P.6)

ベトナムにシフトする繊維プロジェクト、染色による環境汚染を懸念

二国間・多国間の自由貿易協定(FTA)締結により、繊維関連プロジェクトが各国からベトナムにシフトしている。しかし、一部の地域では、特に生産工程に染色が含まれるプロジェクトについて、投資受け入れを敬遠している。

■繊維業界の大きな投資の波

繊維業界を中心に、外国の多くの製造業から関心を集めている Binh Duong 省。Apparel Far Eastern(Bermuda)社は先日、VSIP 2 工業団地で登録投資額 2,500 万ドルの衣料品工場プロジェクトの投資証明書の交付を受けた。

すでに同省 Bau Bang 工業団地で紡織プロジェクトに数億ドルを投じている台湾 Far Eastern グループも、投資拡大のために用地賃貸契約を交わしている。

Nam Dinh 省ではシンガポール Herberton 社が織物・縫製工場投資(8,000 万ドル)を展開、来年にも操業を始め、年間各種布地 2 万,5000 トン、衣料品 1,500 万着を生産し、約 3,000 人の雇用を創出する見込みだ。

国内企業の買収や、株式取得による間接投資も進んでおり、伊藤忠商事は 50 億円を投じてベトナム繊維グループ(Vinatex)の株式約 10%を買い増した。これにより保有率は 15%近くに達している。

ベトナム繊維協会(Vitas)ホーチミン市代表事務所長 Nguyen Thi Tuyet Mai 氏によると、ベトナムは現在、締結している二国間・多国間 FTA の効果から、繊維産業では世界で最も関心もたれる国の一つになっており、実際に諸外国からの投資が増加している。

■ベトナムの優位性が再認識される

これは、2017 年はじめに米国が環太平洋パートナーシップ協定(TPP)離脱を宣言し、繊維業界に大きな影響が出た時とは異なる。当時、業界では外国投資が鈍化し、大きな注文がカンボジアやミャンマー、バングラデシュに流れた。地域諸国と比べ、ベトナムの繊維製品は割高だったことが理由だ。ベトナムにとって最も大きな繊維製品の輸出先が TPP から離脱することで、多くの外国企業が躊躇し、人件費が低く優遇税制の大きな国に注文をシフトさせた。

しかし 2017 年第 3 四半期から投資は回復に向かい、大きな発注が戻ってきた。これについて Mai 氏は、ベトナム繊維業界が高品質製品や加工が難しい商品を生産でき、短期間で納品に対応できるという長所があったと見ている。

Vitas によると、繊維業界で外国投資家は、包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定(CPTPP)以外の協定にも関心を持っているが、特に新世代の貿易協定である CPTPP とベトナム-EU 自由貿易協定(EVFTA)が発効すれば、ベトナムの繊維業界には大きなチャンスが訪れる。

Mai 氏によると、ベトナムにとって 2 番目に大きな輸出市場である EU の現在の税率は 10~12%、これが FTA によって 0%に下がれば、ベトナム繊維製品の EU 輸出には非常に大きな追い風となる。このメリットから Mai 氏は、繊維プロジェクトが引き続きベトナムにシフトすると見ている。従来、ベトナムへの繊維プロジェクトの投資国としては台湾、韓国、中国が大きかったが、今後は韓国がトップになる可能性がある。韓国はベトナムと二国間協定を締結しているだけでなく EU とも協定を結んでいるため、ベトナムへの投資先として選択することに多くのメリットがあると Mai 氏は説明する。

■地方は工場進出による環境汚染を懸念

ベトナムに大きな投資が増えることで、繊維業界の裾野産業も発展し、内地化率は向上する。ただ、これらの分野の受け入れを躊躇する地方が多いことも事実だ。

それは特に染色工程を含むプロジェクトが該当し、環境への影響を懸念して、数億ドルという大型プロジェクトを断った地方もある。

例えば香港 TAL グループは、Vinh Phuc 省 Ba Thien 2 工業団地で総額 3 億 5,000 万ドルの染色プロジェクトに投資したい考えで、首相からも、資源環境省からも基本承認を得ているが、依然として認可は得ていない。

先日 Vinh Phuc 省は改めて、このプロジェクトを受け入れない方針を首相に伝えており、省が首相に不承認を提案するのはこれが 4 回目となった。

ダナン市も、環境汚染の懸念から香港企業の染色プロジェクト、総額 2 億ドルを却下している。この問題についてアナリストは、各地方が、投資家が約束通りに環境対策を実行しなければ、負担が地方に大きく押し掛かり、地方予算では対応しきれないと考えていることを挙げる。

現在、繊維分野の外国投資の大半は紡績、縫製、関連資材であり、染色への投資は全体の 9%未満に過ぎない。VITAS は、各地方が認可しなければ、生地からの生産を求める EVFTA や、糸からの生産を求める CPTPP の原産地規定に応えるサプライチェーンを生み出すことが、困難となることが予想される。

染色工程の環境汚染の危険性は認めつつも Vitas の Truong Van Cam 副会長は、各投資プロジェクトで良好な廃水処理技術が導入されるなら、許可を与えるべきだと訴えている。

■地方が危惧する社会インフラ整備の負担

ただ実際には、環境汚染だけでなく、地方から非常に多くの労働者が働きに出てくることに対する懸念もある。これにより学校や医療、住宅などの整備が求められ、治安の問題も出てくるからだ。地方は自分たちで、これらに対応しなければならないのである。

Tran Tuan Anh 商工業大臣は各地方に対し、織物-染色-完成工程に対して一貫して、柔軟な政策を持つよう求めている。廃水処理についてしっかりと要請すれば、完全な環境保護を行えるため、プロジェクトの申請を阻害しないよう求めている。

現在一部の地方は、投資誘致を停止する対象にはしていないが、条件付きで投資を誘致する対象とし、排水・廃棄物処理に関する規定を満たし、近代的な技術を導入することが担保され、普通労働者の採用が適切な場合にのみ許可する方針だ。また別の地方では、得られるものと失うものを検討した上で、これらのプロジェクトを受け入れられる環境対策インフラを十分に整備し、住宅地から離れた場所に工業団地を整備する考えを示している。

(Thoi Bao Kinh Te Sai Gon 7月12日,P.28)

******* 社会・文化・トレンド *******

結婚式、カード払いのご祝儀に賛否両論

新郎新婦が入口で参列者を迎え、クレジットカードを機械に通して支払われるご祝儀を受け取っている映像が、話題になっている。

これはベトナム初のご祝儀をカードで支払う結婚式と見られ、この面白いクリップ映像が投稿されると、あっという間に多くの人にシェアされ、たくさんの『いいね』がついた。

キャッシュレス時代の新郎新婦は、従来のように封筒でご祝儀を受け取る代わりに、ケータイとカードスキャナーを利用する。

多くの方は『とてもシンプルかつ便利で、面倒なお金も必要なく、会場に着いてカードを通せば終わり』というこのスタイルはネット上で注目を集めた。

しかし一方で、反対意見も多くみられる。ある人は「結婚式なのに、こんな事務的なやり方は、全く意味がないと思います」と言い、またある人はストレートに、「これもお祝いの方でしょうか、ご祝儀は封筒で渡す方がより礼儀正しく感じますし、カードで払うと、食事のために入口で入場券を買うみたいですよ」と話す。

新郎新婦は集金係とほとんど変わらない。さらに言うと、ご祝儀袋を受け取って、家に帰って開けるとところが楽しいのと思う。

(Thanh Nien 7月17日,P.8)

******* 一口ニュース *******

VietJetAir の従業員が 6 月 27 日、当乗客が置き忘れたハンドバッグを持ち帰った罪で、ハイフォン市 Cat Bi 国際空港管理委員会に約 350 ドルの罰金で処罰された。

(Tuoi Tre 7月17日,P.4)

Tan Son Nhat 空港のターミナルに到着した乗客は現在、空港内道路を渡る必要があり、横断歩道を利用しても事故が起きる危機が高いと指摘されている。しかし、ベトナム空港総公社は、空港用地にはスペースが無く、道路と接続するトンネルや陸橋を建設することは困難だと主張している。

(Phap Luat 7月17日,P.9)

ホーチミン市の若者は最近午後 6 時～10 時ジムに運動に行く人が増えており、この時間帯は 18 歳～24 歳の割合が約 4 割。昼間は仕事が忙しいため、帰宅後でストレスの解消手法の 1 つとしてジムに通うケースが多い。

(Tuoi Tre Online 7 月 11 日)

不動産投資企業 Nam Long 社は、西日本鉄道、ベトナム TBS グループ、Tan Hiep 社の 3 社と戦略的な提携をした。同社は Long An 省で Waterpoint という都市区のプロジェク第 1 期の準備を進めている。プロジェクトは面積 355ha、投資総額 6 兆 9,000 億ドンで、10 兆 7,000 億ドンの売上を見込む。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 7 月 17 日.P.証券)

為替・証券市場動向	
為替相場	キャッシュ 23,080 ドン/USD <国家銀行中心レート 22,649 ドン/USD> (7 月 18 日 11 時 30 分・Vietcombank)
株価指数	VN-Index 933.54 (▲12.17/1.33%) VN 30 924.79 (▲9.26/1.01%) (7 月 18 日前場終値・ホーチミン市証券取引所)

***** 入札情報 *****

【調達】2018 年度 Lai Chau 省保健局化学物質・バイオ製品・医療消耗品

(Lai Chau 省人民委員会承認 2018 年 7 月 5 日付文書 709/QD-UBND 号)

パッケージ名	パッケージ価格	資金源	請負業者 選択方法	請負業者 選択期間	契約 形式	契約実施 期間
医療消耗品	386 億 6,568 万ドン	国家 予算 など	国内公募 入札	2018 年 第 3 四半期	固定 単価式	12 カ月
化学物質 バイオ製品	197 億 3,255 万ドン					

投資主：Lai Chau 省保健局

(電子入札システム 7 月 6 日)

***** 事件・出来事 *****

外国人観光客を狙うレディーボーイ窃盗グループを逮捕

ダナン市 Son Tra 区公安は 7 月 14 日、Nguyen Huu Chanh(24 歳)、Dang Hoang Kiet、Nguyen Ngoc Thien(共に 28 歳、ホーチミン市在住)を、窃盗行為の捜査のため、緊急逮捕した。

公安によると、犯行グループは 7 月 9 日～13 日、Son Tra 区 An Hai Bac 街区のあるホテルの部屋を借りて深夜になるのを待ち、Da Nang ビーチエリアに観光に来た外国人観光客を、窃盗目的で言葉巧みに誘い出した。Thien と Kiet は女性になったトランスジェンダーで、Chanh は女装をしたレディーボーイだった。

一番最近の犯行は 7 月 12 日で、Kiet と Thien は Misa ホテル(同区 Duong Dinh Nghe 通り 11 番地)の前に立っていた Vijay Kumar(32 歳、インド人)を見つけると、すぐに近づき、Thien は売春やマッサージに誘いながら、この観光客に抱きついて iPhoneX を盗み、Kiet が運転するバイクで逃走した。

その後 3 人は My An 街区(Ngu Hanh Son 区)で、1 人の韓国人観光客を騙し、220 万ドン(約 100 ドル)相当の Samsung Galaxy S9 Plus を盗んだ。

犯行グループは Son Tra 区、Ngu Hanh Son 区、Hai Chau 区で引き起こした 13 件について供述しており、Son Tra 区公安は、携帯電話 19 台、現金 620 万ドン(約 282 ドル)、2,100 ドル、バイク 2 台、パスポート 3 冊を没収し、他に被害に遭った人を見つけるため報告を行った。

(Thanh Nien 7 月 15 日,P.5)

***** コラム *****

代理出産を引き受ける女性たち（最終話） 癒えない心の傷

代理出産する女性を見つけ、待ちに待った子供が生まれても、すべてが順調に行くとは限らない。予期せぬ災難、束縛や制約が生まれ、家庭崩壊につながることもある。

Hoang Thi Bich さんと、夫の Nguyen Van Phong さんは同い年で（共に 56 歳）、1980 年に結婚した。結婚から 2 年前までは、笑えの絶えない幸せで暖かい家庭だった。

その笑い声が途絶えたのは、Phong さんが代理出産をする女性を捜していることが解ってからだった。

家庭崩壊が危機的状況になったのは、代理出産をした女性が Bich さんに夫を譲るよう迫るようになってからで、それから夫も妻も、気の休まることが一度もなかったという。

「一つのジャガイモを半分に分け合うほど慈しみ合い、一切れのお肉を分け合って食べるほど愛し合っていました。息子が欲しいという夫の思いが代理出産に走らせた。その結果、家庭が不和になり崩壊しました。娘は夫を忌諱し顔を合わせることもせず、私も夫に愛想が尽き、おかしな女に終始苦しめられました」と、Bich さんが話す。

■妻を選ぶのか、他人に産ませた息子を選ぶのか？

ハノイ市、Thanh Xuan 地区の Nguyen Trai 通りにある 3 階建ての家。いつも和気あいあいとした家族が住む家から 1 年ほど前、人影が消えた。

Phong さんが男の子を代理出産してくれる女性を捜していると、周囲の人が噂し始めた。Bich さんは、誰が何を言っても、夫を信じていた。しかし、夫がそれを認めた時から彼女の苦しみの日々が始まった。

彼女は言う、「去年のテトの事でした。新年を迎えた家で、夫は先祖の仏壇に線香をつけ、家の跡継ぎを作れと周りがるさいので、息子を代理出産してくれる女性と契約したことを私に話し、生まれた子供を受け取ったら、その女性との関係を絶つと言いました」。

Bich さんはとてもショックを受けたが、生まれて来るその子を受け入れると静かに頷き、自分の娘と同じように育てると夫に言った。

しかし、驚いたことに夫が代理出産を依頼した Q は出産後、子供を渡そうとしなかった。それどころか、Bich さんに対して、夫を自分に譲るよう要求してきた。

Bich さんによると、Q は常に夫を自分と息子側に引き寄せるような事ばかりした。やれ子供が熱を出した、やれ子供が父親を捜している、そんな理由を次から次へと行って、夫の関心の子供の方へ向かわせるよう翻弄した。

Bich さんが夫を伴って Q のアパートに行っても、ドアすら開けず、「子供は会いたくないと言っている」とうそぶくことを繰り返す。わざわざ出向いても、いつも夫と帰る以外なかった。

帰った後には、決まって Q から「自殺する」と夫に電話が来て、彼を一人で向かわせる。そんな夜は、夫は家に帰らなかったという。

今年のテト。帰省に無理やりついて来た Q が、子供を抱いて親戚の前に顔を出した時、すべてが瓦解した。歓迎する親戚はそれほどいなかったにも拘らず、Q は図々しくも嫁のごとく振る舞った。

怒りや嫉妬を表せば騒ぎになると思い、「テトが終わるまで」と、Bich さんは辛抱したが、堪えきれず先にハノイに帰ってきた。「夫が白黒つけられなければ離婚します。会社や家は夫が好きにすればいいです。私は娘とオーストラリアへ行って暮らします。2 度とこの家には戻りません」と、Bich さんは言った。

契約では生まれた子供が 1 歳になった時、Q は子供を夫婦に渡す約束だった。そして、子供の引き渡しを終了すれば、Q と子供が住むために準備したアパートは、Q に譲渡する約束だった。

しかし、彼女は子供の引き渡しを拒否した。「子供がすっかり自分に懐いたので、母親の愛情に飢えるのが可哀そうだ」、というのが理由だった。「もし息子が欲しいなら、あなたがこのアパートへ越して、一緒に住めばいいでしょ」と、Phong さんに向かってそんな事まで言うようになった。

Phong さんは、息子ができた後は万事上手く行くと考えていたが、皮肉にも代理出産を頼んだことで、自分自身が二者択一を迫られる羽目になるとは思いもよらなかった。彼は、かたや妻との情義、かたや血のつながった息子、両者の間で完全に板挟みになったのだ。

Phong さんは、Bich さんに誠意を尽くし、「あの女はしばらく放置しよう、私は連絡を絶つ。息子の引き取りは後々考えよう」と決断し、Q には告げず一家は引っ越した。

Q という悪夢から解放された Bich さんに、少しずつ平静が戻ってきた。

「このランの花は、先日の 30 回目の結婚記念日に私が買って妻に贈った花です。彼女が一番好きな花ですから。私にはいつでも息子と引き取る用意があります。しかし、妻と交換だと言われれば、それはできません。妻がいなければ、この家には何の意味もありません」と、Phong さん語った。

Bich さんは、今はもうすっきりして夫を許しているが、Phong さんは自分が代理出産を決めたことが、常に自分を想ってくれた妻の誠実な心に、癒すことのできない傷を残してしまったと後悔している。

Phong さんは、なんとか離婚の危機を挽回することができ、胸をなでおろしている。

■子供ができて離婚した夫婦

ホーチミン市 Binh Chanh 県の Tu さんと Hoa さん（32 歳）夫妻の場合、Hoa さんが子供を産めないことを知った Tu さんの家族は、2 人の結婚に際し一つの条件を出した。

その条件は「結婚したければ代理出産してくれる女性を捜すこと」だった。2 人は代理出産を依頼する女性を探し、病院で体外受精をする準備を始めた。

しかし家族は、「試験管受精でできた子は自然受精で生まれた子に比べ劣る」と言い張り、直接関係して妊娠することに同意する女性を捜すよう求めた。

「赤ちゃんが生まれた後、夫と家族の関心はすべて赤ちゃんに向けられました。代理出産した女性と夫との関係もズルズルと続き、その女性が家族のように本家に呼ばれることもありました」と Hoa さんは当時を語る。

それから 3 年後、決意して離婚した彼女は「時々私は、自分が夫の家にとって必要とされていない人間なのではないかという感覚に陥りました」、これが一番辛かったと振り返る。

「私が最近思うのは、本当の愛があれば子は確かに夫婦のかすがいになりますが、愛がなければどんな方法であれ、子供を作るとは体裁を繕うだけに過ぎず、なんの安定にもなりません」と Hoa さんは話す。

彼女は再婚して、現在は新しい夫と子供と一緒に、幸せに暮らしている。

(Thanh Nien 6 月 30 日, P. 16)